

衆院選 31日投開票

14日解散 19日公示

岸田内閣発足



岸田文雄
岸田文雄

岸田文雄首相(64)は4日、官邸で記者会見を開き、臨時国会会期末の14日に衆院を解散し、次期衆院選の日程を19日公示、31日投開票にすると表明した。首相は衆参両院本会議での首相指名選挙で第100代首相に選出され、皇居での首相任命式と閣僚認証式を経て自民、公明両党連立による岸田内閣が発足した。官房長官に起用した松野博一氏(59)が閣僚名簿を発表。首相は新型コロナウイルス対策と経済再生に全力を挙げる。

首相は衆院解散理由に関し「国民の信任を背景に信頼と共感の政治を全面的に動かしていきたい。国民に判断をいただくのだから、コロナの現状も念頭に置き、衆院本会議で第100代首相に指名され、起立する自民党の岸田文雄総裁(4日午後1時40分

た」と説明。10月21日で任期満了となる衆院議員の空白をできるだけ短くしなればいけないと述べた。現行憲法下で任期満了を越える衆院選は初めて。

10月末の20カ国・地域首脳会議(G20サミット)や、11月初めの国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)の首脳級会合について「リモートなどの技術で参加することも可能だ。そうした技術を使うことで日本の存在力を発揮していきたい」と述べた。

衆院選は10月26日公示、11月7日投開票と、11月2日公示、14日投開票が有力とみられていたが、コロナ「感染第6波」が懸念され

る中、全国的に感染状況が改善して緊急事態宣言が解除された新内閣発足直後の時期が得策と判断した。秋篠宮家の長女眞子さまが小室圭さんと10月26日に結婚されることも考慮した。

自民党派閥の宏池会(岸田派)所属議員の首相就任は1991年の宮沢首相一元首相以来、30年ぶり。首相は第2次安倍政権以降、外相、党政調会長などを歴任した。

新内閣では野田聖子元総務相(61)を「こども庁」創設に向けた担当相に充てた。13人を初入閣させ、経済安全保障担当相に登用した小林鷹之元防衛政務官(46)ら衆院当選3回の若手を抜き、臨時国会は

4日に召集された。8日に首相が所信表明演説を実施し、11・13日の予定で各党代表質問に臨む。菅義偉内閣は4日午前の臨時閣議で総辞職した。菅氏の首相在職日数は384日で、戦後の34人中、12番目に短い。

与野党 既に臨戦態勢

間近に迫る衆院選に向け、福井県内では与野党が既に臨戦態勢に入っている。自民党候補は4日発足した新内閣の清新さを押し出しながら、議席維持に向けて支持固めを本格化。政権交代を訴える野党は、

県内に大物弁士を投入するなど対決姿勢を強めている。「非常に難しい、厳しい選挙と認識している」。2日、福井1区から出馬する自民党の稲田朋美衆院議員は、事務所開きを集まった

支持者らに危機感を訴えた。あいさつに立つ県連幹部も「岸田文雄新総裁の下、何とんでもなく権力を維持する強い決意で努力しないといけない」(山崎正昭県連会長)など、これまでにない結果を求めた。

立憲民主党は3日、平野博文代表代行が福井入りし、福井1、2区から出馬予定の野田富久元県議と青木武志衆院議員を側面支援した。JR福井駅西口では野田氏と並んでマイクを握り、自民党の役員人事を念頭に安倍晋三、麻生太郎両氏の「いかい政権だ」と批判。「自民党では何も変わらない。政治を国民に取り戻す」と支持を訴えた。

衆院選は想定より1〜2週間早い10月31日投開票の日程が固まった。衆院解散から公示まで5日しかなく、各陣営は早急に対応を加速させる。(伊豆倉知)



19日公示「さあ大変」

衆院選の日程が四日、決まった。十九日公示、三十一日投開票は、数日前から報道されていた予想日程より一週間早い。県内各市町の選挙区については「想定外」で、投開票所の確保に向けた作業に慌てた。投票所などに使う施設を新型コロナウイルスのワクチン集団接種会場に充てている自治体もあるが、影響は限定的とみられている。●面参照

衆院選 ふくい 10.31

県選管は投票日を当初、任期満了日(今月二十一日)を越えない「十七日」と見込んでいたが、自民党総裁選の実施などでその後「十一月七日か同十四日」と想定していた。ようやく日程が決まったことから県選管は四日午後、各市町選管にメールを送り、投開票所の確保に支障がないか照会に乗り出した。

投開票所の確保急ぐ

「十九日公示、三十一日投開票」とは、別の日程で調整していた。投票所となる公民館では文化祭を予定しているところがあると聞くし、期日前投票所のショッピングセンターとも相談を進めていたのに。福井市選管の担当者はいきなり困惑し、当日投票所百二十カ所、期日前投票所十五カ所に問い合わせを始めた。

県内市町選管

大野市では市総合文化祭(二十四日～十一月三日)の期間と重なり、投票所の市役所市民ホールと開票所の結とびあ多目的ホールが展示会場になる。市選管は、市民の混乱を避けるために投票所は変更せず、スペースを区分して使う方針。開票所は変更予定で、担当者は「公示まで準備期間が短い。準備や対応に困る自治体は多いのではないかと語った。」

市町の新型コロナウイルスワクチン接種は十月中の完了に向け、終盤を迎えている。坂井市は投票票日前日の三十日に二回接種で最後になる集団接種を三カ所で予定。うぶ霞の郷(丸岡総合福祉保健センター)は翌日に投票所となるが、午後五時すぎの接種完了後から設営を行うつもり。「多少はたばたするかもしれないが、予定通り(担当者)という。」

福井市は会場への影響がなまなま、大野市はワクチン接種が九日といったん終わる。鯖江市も十三日で集団接種がいったん終了する。このため、ワクチン接種が投開票所会場の確保に大きな影響は与えないとみられる。敦賀市は投票票日に会場で別のイベント予定はないという。

県選管によると、前回の二〇一七年衆院選で県内の投票所は小学校や公民館など四百一十一カ所だった。期日前投票はショッピングセンターなど四十七カ所、今回も一部で統合などの動きはあるものの、おおむね同じ規模になる。

岸田文雄首相が十月中の衆院選実施を明言した。十一月の投開票が有力視されていただけに、立候補予定者陣営や与野党の都道府県連関係者は「慌てた」と驚きを隠せず、選挙戦のポラリティを集めや野党間の候補者を懸念する声が上がった。

出馬予定の陣営 人員確保を懸念

「早め早めに準備してきただけだが、日程を聞いて慌てた」と話すのは宮城一区の自民現職土井亨氏陣営の女性スタッフ。「手伝つてもうボランティアの人員確保が大変だ」と頭を抱える。一方で早期の選挙戦は自民党総裁選の勢いを生かせるかと歓迎した。大阪15区で出馬する日本維新の会現職浦野靖人氏の秘書は「看板業者と二十

六日公示」という前提で打ち合わせしたばかりだった」と驚いた様子。「街頭演説もビラ配りも、やるべきことに変わりはない。今回こそは比例復活でなく小選挙区で勝ちたい」と意気込んだ。

新内閣発足直後の選挙戦。自民党愛知県連の中野治美幹事長は「支持率が低迷した前政権よりは持ち直すと思う。だが、あくまで候補者の資質が有権者にどう見られるかだ」と気を引き締める。

立憲民主党東京都連の幹部は「新首相誕生のご祝儀相場の一点突破で勝つつもりなのだろう」と推測。「共産党との候補者調整など、野党側の準備が整うか心配だ。野党支持層でも政権交代への期待感が薄く、体制づくりを急がなければ」と焦りをのぞかせた。

投票票が早まったことを歓迎する街の声も。札幌市東区の男性(仮名)は新型コロナウイルスの感染者数の減少傾向が続く中で日程が決まったことに「投票などで密を気にしなくて済む」と話す。

衆院選で有権者は何を望むのか。北海道本別町の農業石山直貴さん(仮名)は、コロナ禍で傷ついた経済を再建できる候補に一票を投じる考えた。「町内は個人経営の店が多く、一律の休業要請などで厳しい思いをしてきたと聞く。隅々まで行き渡る政策が示されているか意識したい」と話す。



衆院選のニュースを伝える東京・秋葉原の大型モニター(4日午後)

投票用紙の 梱包始まる 県選管

衆院選 ふくい 10.31



計数機で投票用紙の枚数を確認する県選管職員ら＝県庁で

十九日公示、三十一日投票の衆院選に向け、県選管は八日、県庁で県内の各

市町に送る投票用紙の梱包作業を始めた。

衆院選の日程が予想より早まったため、梱包作業も予定より一週間前倒しで開始。梱包する投票用紙は計二百四万四千枚で、点字用紙や船員不在者用紙も用意

した。県選管職員十人が計数機で枚数を確認し、各市町分を早く段階별로詰めた。作業は九日までに終わらせ、十一日に各市町の選管に送る。(牧悠平)

13日に立候補 予定者説明会

県選管は八日、衆院選の事務日程を発表した。立候補予定者説明会を十三日午後一時半から、県庁二階で開く。立候補届け出書類の事前審査は十四～十八日、県庁六階で実施する。

(山本洋児)

◇その他の主な事務日程▽11日市町選管委員長、書記長合同会議▽19日立候補届け出の受け付け▽20日期日前投票・不在者投票の受け付け開始▽31日投票票速報▽11月3日当選証書の付与

県庁で立候補予定者説明会

衆院選 ふくい 10.31

県選管は十三日、衆院選の立候補予定者説明会を県庁で開いた。県内二つの小選挙区に計五陣営と福井維新の関係者が参加した。

〇面参照

福井一区には出馬を表明する自民党の現職稲田朋美さん陣営、立憲民主党の新人野田富久さん陣営が参加。二区は自民党の現職高木毅さん陣営、立憲民主党

の現職齊木武志さん陣営と、同区からの立候補の意向を示し、その後に自民党の比例代表北陸信越ブロックの名簿に登録された現職山本拓さん陣営が後援会からの意向を受けて参加し

た。福井維新の会は1、2区ともに立候補予定者は「未定」。同会の吉川貞明幹事長は「党本部から候補者を出すか出さないかの決定を十四日まで待つ」とこの連絡を受けて参加した」と話す。同会は県内関係者の擁立を断念している。(長谷川寛之)

投票用紙 17市町に発送 県選管 204万枚

次期衆院選に向け、県選管は11日、投票用紙約204万枚など関係書類を県内17市町に発送した。投票用紙は小選挙区、比例代表、最高裁判所裁判官国民審査が67万7千枚ずつ、点字用紙2880枚ずつなどで計204万4千枚。このほか不在者投票用の封筒や開票作業で使用する付



せん用紙なども合わせ、関係書類全93種類223万7820枚を梱包した。県庁

正面玄関前で、県選管の職員20人が書類の入った段ボール166箱をトラック3台に次々と積み込んだ。

公正選挙へ 意識を共有

県市町選管合同会議 次期衆院選に向けた県選管と市町選管の合同会議が11日、県庁で開かれた。写真。31日に定まった投票開票日までの事務日程などを確認し、公正な選挙を管理執行する意識を共有した。

17市町の選管から担当者約30人が出席した。県選管の木川直美委員が「選挙は民主主義の根幹をなすもので、公正さに疑念を持たれてはならない。緊張感を持って職務に臨んでほしい」とあいさつ。新型コロナウイルス



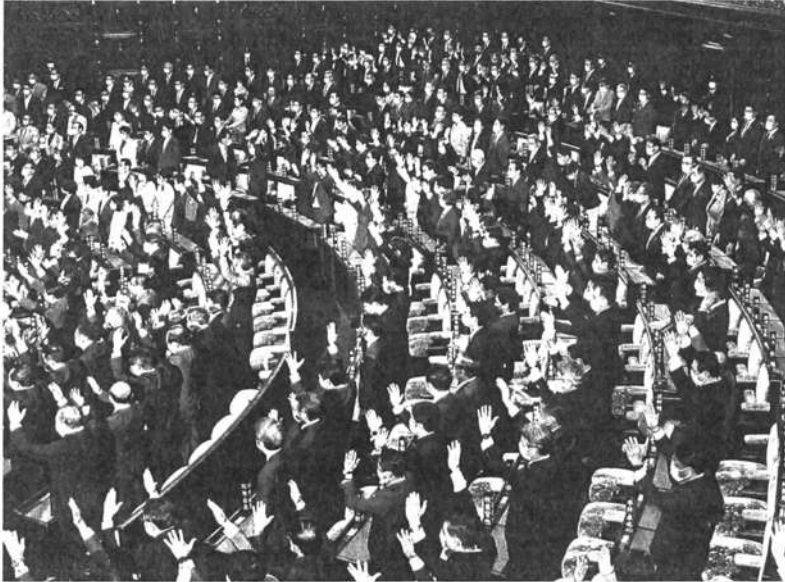
投票用紙が入った段ボールをトラックに積み込む
県選管職員＝11日、県庁



イルス感染症療養者向けの郵便投票が衆院選で初めて適用されるため、有権者への周知を図るよう呼び掛けた。この後、県選管の増田俊介書記長補佐が、今後の選挙事務の日程や留意事項などを説明した。(野田勉)

コロナ・経済 争点

衆院解散 総選挙



衆院が解散され、万歳をする前議員ら（14日午後1時3分、国会で）＝菅野靖撮影

31日投開票 短期決戦

衆院は14日の本会議で解散された。政府は続く臨時閣議で、第49回衆院選の日程を「19日公示・31日投開票」に決定し、与野党は事実上の選挙戦に入った。自民、公明両党の連立政権と、立憲民主党を中心とする野党勢力による政権選択の選挙となる。新型コロナウイルス対策や経済政策が主な争点だ。

衆院選は2017年10月以来、4年ぶり。現行憲法下で衆院が解散されるのは25回目、衆院議員の任期満了日（10月21日）以降に行われるのは初めてとなる。内閣発足から解散まで

衆院選は2017年10月10日、解散から投開票までの17日間は、いずれも戦後最長だ。岸田首相は14日夜、首相官邸で記者会見し、今回の衆院選を「未来選択選挙」と位置付けた。その上で、「国民の大きな関心事はコロナ対策だ。現状にどう対応するか、危機的な状況を乗り越え先をどう見ながら社会を見ていくのかが、大きな争点になる」と述べた。

各党の立候補予定者数

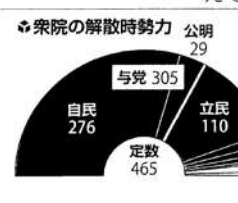
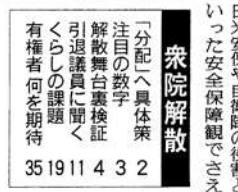
	小選挙区 (定数289)	比例 (定数176)	合計 (定数465)
自民	279	27	306
公明	9	44	53
立民	214	4	218
共産	106	25	131
維新	91	0	91
国民	21	5	26
れいわ	18	5	23
社民	9	6	15
N裁	27	3	30
諸派	10	8	18
無所属	72	—	72
合計	856	127	983

※公認調整中を含む。14日午後8時現在。読売新聞社調べ。比例は重複立候補者を除く

立候補 980人超予定 本社集計

読売新聞社は14日、31日投開票の衆院選の予想立候補者数を集計し、総数は980人を超えた。各党はさらに候補擁立を進めており、今後とも増える見通しだ。2017年の前回衆院選の立候補者数は1800人。小選挙区選(定数289)では850人余りが出馬の区を80弱まで減らした。

準備を進める。自民、公明両党は、自民維新者が出馬する選挙区などを除き、ほぼ全ての選挙区に擁立した。立憲民主党は214人を立てた。選挙協力を進める野党は立民、共産、国民民主、れいわ新選組、社民の5党の間で競合する選挙区を80弱まで減らした。



公明 29
自民 276
立民 110
定数 465
与党 305

方向性が一致していない野党各党に、この国を委ねることはできない」と強調。勝敗ラインについては「与党で過半数確保」と語った。公明党の山口代表は解散後に東京都内で街頭演説し、「政権を安定させ、国民が望む政策を着実に実行していくべき」と主張。「10年近く続いてきた傍若無人な政治を終わらせる」と意気込んだ。立民は共産、国民民主、れいわ新選組、社民の4党と選挙協力を進め、小選挙区289のうち、200以上の選挙区で候補者を一本化した。

衆院選向け違反取締本部 県警が設置

19日公示の衆院選に向け県警は15日、選挙違反取締本部を県警捜査2課と全11警察署に設置した。遠藤顕史本部長を取締本部長、各署長を署取締本部長とする約1220人態勢で取り締まりに当たる。

この日、県警本部、各署一斉に取締本部の看板を取り付けた。本部捜査2課の酒井義和次席は「厳正、公平な違反取り締まりに徹する。特に悪質な違反については、投票日前でも検挙する」とした。

同課によると、14日までに文書図面掲示違反で6件の警告を出している。2017年の前回衆院選では、20件の警告を出した。(小柳慶祥)



選挙違反取締本部の看板を設置する警察官 15日、県警本部

衆院選 2021

選管受け付け準備万全

きょう公示 「投票を」市役所に横断幕



衆院選は19日、公示される。県内2選挙区のうち福井1区では、自民党前議員の稲田朋美氏と立憲民主党新人の野田富久氏、福井2区では、自民党前議員の高木毅氏と立憲民主党の齊木武志氏の計4陣営が、県選管の事前審査を終えて選挙戦に備えている。県選管は18日、県庁で立候補受け付けのリハーサルを行い、手順を入念に確認した。

(仁木翔太)

福井市役所に掲げられた横断幕。福井市で「七つ道具」などを確認する県選管の職員ら（県庁で）

小選挙区の立候補届け出「リハーサルは、各選挙区に2人ずつ立候補すると想定して行われた。受け付け会場には、新型コロナウイルス対策のアルコール消毒液が設置され、職員約20人が書類の審査方法や、看板や腕章など選挙の「七つ道具」の交付手順などを確認し、約20分で作業を完了した。

担当者は「コロナ対策を徹底しながらも、当日は迅速正確な手続きに努めたい」と話した。

福井市役所ではこの日、31日の投票日が書かれた選挙啓発用の横断幕（縦2枚、横10枚）とのぼり旗が設置された。

県選管によると、県内の衆院選小選挙区選の投票率は、2012年までは6割を超えていたが、14年は過去最低の50・00%、17年の前回選も55・92%にとどまっている。今回は、コロナ禍の影響で、ショッピングセンターなどでの大規模な啓発活動が難しい上、解散から公示までの期間が短い。そのため、準備作業に追われて広報に苦慮しているという。

県選管の北畑茂和書記長は、「公示後はSNSなど非接触の手段も活用して、若い世代などへの呼びかけも検討したい。期日前投票も選択肢に、一人でも多くの県民に投票してもらいたい」と呼びかけている。

読売新聞
オンライン

読者会員登録で大
阪本社版朝刊の各
地域版がカラーで
ご覧いただけます

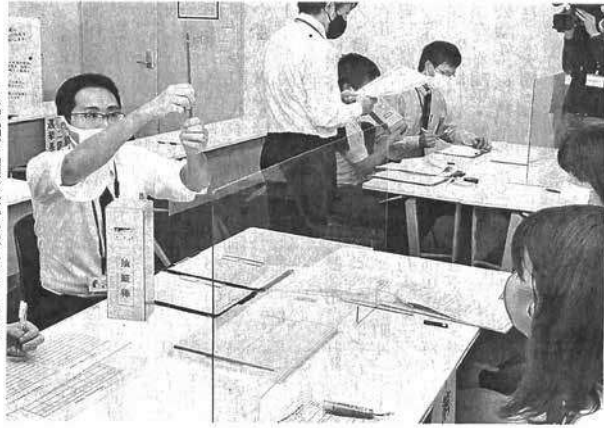
第73回正倉院展
は奈良版で

10月19日 日刊県民福井

立候補の受け付け「リハーサル」が滞りなく

衆院選公示を前に、県選管は18日、県庁で小選挙区の立候補届け出受け付けのリハーサルをした。

県選管の職員二十五人が参加し、本番ながらに当日の流れを確認した。候補者陣営役の職員を相手に、



くじで届け出順を決め、書類に署名してもらった。その後、選挙事務所に掲げる看板や街頭演説用の旗、運動員が着ける腕章など、「選挙七つ道具」と呼ばれる選挙運動に必要な七種類の物品を渡した。リハーサルは二十分ほど滞りなく終わった。(曾根智貴)

くじで届け出順を決める職員たち（県庁で）

投票の仕方 学生に指南

福井大に選挙コンシェルジュ

19日公示の衆院選に向け福井市選管と市明るい選挙推進協議会は18日、同市の福井大文京キャンパスに、選挙に関する質問を受け付ける相談員「選挙コンシェルジュ」を配置した。学生に不在者投票制度や期日前投票を説明し、利用を呼び掛けた。

(前田和也)



福井市選管など 質問や相談対応

県外出身の大学生に不在者投票制度について説明する選挙コンシェルジュ。18日、福井市の福井大文京キャンパス



カフェテリアにブースを設け、同協議会の委員2人がコンシェルジュを務めた。住民票を移していない県外出身の学生らに「不在者投票宣誓書」を記入し、元の選管に投票用紙を請求する。「投票日までに投票用紙が選挙人名簿登録地に届かない場合は無効になる」とも伝えた。

工学部2年の渡辺渥輝さん「岐阜県出身は「制度は聞いたことがあるが、やり方が分からなかったので助かった」と話す。同じく

工学部2年の吉見凌さん「兵庫県出身は「投票の権利を生かしたい」と不在者投票宣誓書を記入した。コンシェルジュは、若者の投票率アップを図ろうと2016年から実施している。福井大への配置は19日まで。20、21日は福井工大に配置する。

また、福井市選管は投票を呼び掛ける横断幕やのぼり旗を市役所に設置した。横断幕は縦2枚、横10枚。のぼり旗は玄関付近に10本を並べた。

10月19日 日刊県民福井

選挙人名簿登録者数

(18日現在、県選管発表)

選挙区	市町村	性別		総数
		男	女	
1区	福井市	103,769	112,417	216,186
	大野市	13,015	14,262	27,277
	勝山市	9,127	10,032	19,159
	あわら市	11,042	12,291	23,333
	坂井市	35,881	38,756	74,637
	永平寺町	7,451	7,891	15,342
合計	180,285	195,649	375,934	
2区	敦賀市	26,394	27,304	53,698
	小浜市	11,799	12,297	24,096
	鯖江市	27,360	29,148	56,508
	越前市	31,708	33,449	65,157
	池田町	1,026	1,138	2,164
	南越前町	4,151	4,540	8,691
	越前町	8,532	9,110	17,642
	美浜町	3,855	4,063	7,918
	高浜町	4,279	4,191	8,470
	おおい町	3,335	3,399	6,734
若狭町	5,793	6,227	12,020	
合計	128,232	134,866	263,098	
県合計	308,517	330,515	639,032	

県内選挙人名簿登録者63万9032人

公示日前日現在 総数は六十三万九千三百三十二人で、小選挙区別では、1区が三十七万五千九百三十四人、2区が二十六万三千九十八人。

公示日前日現在の選挙人名簿登録者数を発表した。総数は六十三万九千三百三十二人で、小選挙区別では、1区が三十七万五千九百三十四人、2区が二十六万三千九十八人。

候補者一人当たりの選挙運動費用の支出制限額は、1区が二千四百七十三万九千円、2区が二千三百四十四万六千五百円。

貴重な一票投じて

県選管の金井亭委員長は十九日の衆院選公示に当たって談話を発表した。要旨は以下の通り。

今回の総選挙は、厳しい社会情勢の中において暮らしや国の進路を決定する上で重要な意義を持つ。自分たちの代表者を選ぶ重要な選挙であることを認識して貴重な一票を投じるよう切望する。期日前投票所が商業施設や大学など県内五十一カ所に設置されるので活用してもらいたい。

10月21日 福井新聞

選挙ルールの順守 学生2人呼び掛け

一日選挙管理委員 県選管は20日、県内の学生2人を衆院選の一日選挙管理委員に委嘱した。2人は県内小選挙区の全4陣営を回り、選挙ルールの順守を呼び掛けた。写真。

2人は、県内の大学生らでつくる「県明るい選挙推進青年活動隊(CEP)」に所属する県立大3年の小



林未さん(20)と福井大教職大学院2年の川西雄太郎さん(24)。県庁で県選管の金井亭委員長から委嘱状を受け取った。

その後、福井1、2区それぞれ3回、ラジオ1回。

れぞれに分かれて事務所を訪問。「ルールを守ったきれいな選挙を心掛け、有権者の信頼と期待にこたえてほしい」と要望書を読み上げ、明るい選挙のシンボルの白バラを事務所関係者に手渡した。

(野田勉)

24日から政見放送 自民、立民 衆院選の県内2小選挙区に候補者を擁立した自民党、立憲民主党政見放送が24日から28日まで行われる。放送回数は両党ともテレビ3回、ラジオ1回。

(宇野和志)

放送日程は次の通り(カッコ内の並びは放送順)。

(テレビ)▽24日午後4時、福井テレビ(立民、自民)▽28日午前7時25分、NHK総合(立民、自民)▽同日午前9時55分、福井放送(立民、自民) (ラジオ)▽27日午前8時、NHK第1(立民、自民)

期日前投票

人口減少に伴い県内の投票所の統廃合が進む中、市町選管は衆院選の投票機会の維持や利便性向上に向けた対応に工夫を凝らしている。小浜市は、車内に投票箱を載せたバスを巡回させる「移動期日前投票所」を県内で初めて導入。坂井市では、投票所までの距離が遠くなった地区を対象に短時間の「臨時期日前投票所」を初めて設置するなど、あの手この手で投票行動を後押しする。

(野田勉、石川悠樹)



県選管によると、衆院選の県内投票所は、2017年の前年から25カ所減の386カ所。高齢化によって投票所の立会人らの確保が

難しくなっていることなどが背景にある。18から14カ所に統廃合された小浜市では「(移動手段が限られる)高齢者の利便性の確保や若年層への選挙の意識付けにつなげた」と(選管)として、試験的に移動期日前投票所を設けることを決めた。高齢者や車いす利用者が乗り降りしやすいノンステップバスを借り、25、26の両日、市内5区と2つの高

小浜 投票箱載せたバス巡回

距離短縮へ「臨時」開設 坂井

新たな試み

市町選管 利便性、機会確保向け

校の計7カ所へ派遣する。車内に記載台と投票箱を設置し、投票の立会人ら4人

が同乗。有権者は1人ずつ乗車して投票する。日程は25日午前10時〜午



小浜市選管が移動期日前投票所に使うバス。20日、同市千種2丁目の三福タクシー

後4時40分に東勢区、下根来区、若狭東高の3カ所。26日午前9時半〜午後4時40分に小屋区、堅海区、泊区。若狭高の4カ所を巡回。1カ所につき1〜2時間滞在する。一方、坂井市は各小学校区を基準に投票所を28から20カ所に見直した。投票所までの距離が遠くなった地区には事前説明をし、希望があれば臨時的に期日前投票所を開設する対応を取った。移動距離で8・6キロ先の丸岡総合福祉保健センターに統合された竹田コミュニティセンターでは、29日午前8時半〜午後0時半の4時間限定で期日前投票所を開設する。また利便性の向上や啓発を目的に、JR丸岡駅でも29日午後4〜8時に臨時期日前投票所を初めて設ける。市選管は「期日前投票が定着する中、さらなる投票率向上のために試験的に実施する」としている。

期日前投票始まる

県内各所で

衆院選と最高裁判官国民審査の期日前投票が20日始まり、全ての市役所・町役場のほか、ショッピングセンターなどに投票所が設置された。原則午前8時半〜午後8時、一部を除き開票日前日の30日まで受け付ける。

初日は45カ所設置され今後、前回衆院選(2017年)より4カ所多い計51カ所となる。前回は期日前投票者数(県内小選挙区)が14万3912人で、有権者の約22%を占めた。

県選管の担当者は、期日前投票による有権者の分散で新型コロナウイルスの感染対策にもつながるとし「候補者の選挙運動を通じて政策などを見極め、自由な意思と判断によって一票を投じてほしい」と話している。

(嶋本祥之)

期日前投票 バスで1票

県内初導入 小浜の3ヵ所巡回



バスを利用して開設した移動式の期日前投票所＝小浜市の東勢ふれあい会館で

衆院選(二十一日投票)の期日前投票で小浜市は二十五日、バスによる移動投票所を県内で初めて導入し、市内三カ所を巡回した。人口減少などによる投票所の統廃合で不便になった二地区に加え、若年層の投票率向上へ若狭東高校も巡った。バス会社から借りたノンステップバス内に記載

台や投票箱を設置。車外にテントを張って受付場所にした。東勢区では、前回選で当日の投票所が設けられた東勢ふれあい会館の駐車場に開設。訪れた住民は、受け付けを終えると一人ずつバスに乗り込み、職員案内でスムーズに投票を済ませた。バスが止まっているの

衆院選
ふくい
10.31

を見かけて足を運んだ男性(左)は「便利でよかった。投票所が遠くなくなってしまったので、足腰が弱くなった高齢者は助かるのではないかと話した。移動投票所は二十六日も開設。小屋区の小屋集落センター前(午前九時半から十時半)、堅海区の県栽培漁業センター(午前十一時半から午後一時)、泊区の泊漁港(午後一時半から二時半)、若狭高校(午後三時十分から四時十分)を巡回する。(鈴村隆一)

期日前投票 前回の1.4倍

24日までの5日間で、衆院選の期日前投票は、開始から二十四日までの五日間で四万六千八百八十九人が済ませた。県内有権者の6・4%で、二〇一七(平成

二十九)年十月の前回衆院選同期の一・四倍に増えた。県選管が二十五日、発表した。県選管は増加の要因を、期日前投票の制度が浸透したためとみている。選挙区別では、福井一区が二万六千二百三十七人、同二区が二万四千四百五十二人だった。市町別で最多は福井市の一万六千七百五人。続いて坂井市の四千四十五人だった。前回からの増加幅が最も大きいのは越前市。三千七百七十五人で三・四倍だった。前回は市長選とのダブル選で、市長選の期日前投票が始まるまで序盤の投票者数が伸びなかった。期

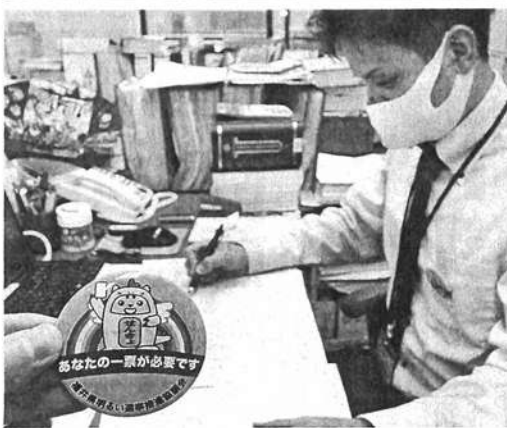
あなたの1票が必要です

啓発バッジ作製

衆院選に向けて有権者に投票を呼び掛けようと、県明るい選挙推進協議会は啓発バッジを作った。二十五日から、学識経験者などで

啓発バッジを制作する県選管職員

県明るい選挙推進協



つくる協議会委員と県選管の職員がバッジを着用して勤務。「歩く広告塔」となり、投票率の向上を図る。オレンジ色の円形バッジには「あなたの一票が必要です」と書かれ、協議会の「当地キャラクター」めいすいサウルスが投票用紙を掲げて投票するようアピールしている。新型コロナウイルス感染症対策としてティッシュ配りなどの広報活動を取りやめ、協議会委員らが身に付けることで啓発できるバッジを今回初めて取り入れた。県選管によると、前回衆院選の投票率は55・92%。投票率は近年低下傾向にあり、担当者は「会員制交流サイト(SNS)での発信やデジタル広告など時代に合わせた手法も取り入れ、政治離れを食い止めたい」と話した。(成田真美)

日前投票は三十日まで。各市町の役所や役場などで原則午前八時半～午後八時に受け付けている。(山本洋児)

判断の一助に 選挙公報見て

市町選管へ発送 衆院選は二十一日、衆院選の選挙公報と、最高裁判官国民審査の審査公報を各市町の選管に発送した。遅くとも二十九日までに、県内の全世帯に届けられる予定。選挙公報は、候補者の経



選挙公報などをトラックに積み込む県選管職員たち(県庁で)

衆院選
ふくい
10.31

歴や主張が書かれた小選挙区用と政党の公約などが書かれた比例代表用がある。審査公報には、審査される十一人の裁判官の経歴や過去に下した判決などが紹介されている。

午前九時に、計約九十五万部の印刷物を載せたトラック五台が県庁を出発。県選管の担当者は「候補者の政治信条、取り組みたい政策が一番はつきり見えるのが選挙公報。判断材料の一つとして読んでもらえたら」と話した。選挙公報と審査公報は、県選管のホームページからも閲覧できる。(成田真美)

衆院選21

投開票「密」防ぐ知恵

31日に投開票される衆院選で、県内各市町の選挙管理委員会が、投票所の新型コロナウイルス感染症対策に知恵を絞っている。感染の不安から投票を控える人が出ることも懸念されるため、期日前投票所が混雑しそうな時間帯を有権者に知らせたり、記入用の鉛筆の使い回しをやめたりする自治体もある。



使い捨て手袋やフェースシールドを用意した坂井市の期日前投票所（坂井市で）

HPに混雑予想

福井市選管は、2017年の前回衆院選の期日前投票について、日別や時間帯別の投票者数を市の公式HPに掲載している。今回の期日前投票で、会場がいつの日時を選ぶ際の参考にしてもらうのが狙いだ。一般的に、投票日に近いほど混雑し、一日のうちで午前10時から午後1時にかけて混み合う傾向があるという。HPでは、投票所ごとに混雑しそうな日や時間帯を赤色で表示して、分散投票を呼びかけている。同市によると、こうした情報提供は初めてという。

使い回しNG

越前市選管は、期日前投票所で、投票用紙を有権者に配る際に鉛筆も1本ずつ渡し、小選挙区選、比例選、国民審査の投票を同じ鉛筆で記入してもらっている。投票後は回収箱に入れ、持ち帰ることもでき、使い回しによる接触感染の不安を取り除く。従来の選挙では約600本を用意していたが、今回は約8万本をそろえ、投票日当日も実施する。

坂井市選管は、期日前投票所で、希望する有権者にゴム手袋やフェースシールドを配布している。担当者は「混雑時には入場規制も視野に、安全を最優先したい」と話す。

開票用機械 新調
多くの職員が集まる開票作業に気を配る自治体もある。

る。

勝山市選管は、開票所を従来の市民会館から、10倍広い勝山市体育館（シオアリーナ）に移す。大野市選管は、開票作業にあたる市職員が手袋を着用する。敦賀市選管は、候補者や政党名を自動で選別する機械を新調した。機能が向上することで開票作業を行う職員が約1割減り、密が緩和できるといえる。

県選管によると、公示後の20、24日に期日前投票を済ませた人は、17年の前回投票を上回っているが、31日は密を避けるために投票をあきらめる人が出る懸念もあるという。担当者は「各選管で細心の注意を払っているので、安心して投票してもらいたい」としている。

◆ 読売新聞 オンライン

読者会員登録で大阪本社朝刊の各地域版がカラーで見たい放題です

第73回正倉院展は奈良版で

10月27日 福井新聞

10月30日 福井新聞

開票速報 準備よし 県選管 作業手順を確認



衆院選投開票の速報手順を確認したリハサル＝29日、県庁

31日の衆院選投開票日前に県選管は29日、県庁で投開票速報のリハサルをした。県内17市町選管の開票結果が届いてから発表までの作業手順を確認し、本番に備えた。

票日と同じ職員26人がリハサルに臨んだ。職員は各市町選管からファクスで開票結果が送られてくると、計算ミスがないか確認し、報道発表や県ホームページ（HP）公開の手順を確かめた。

小選挙区の開票速報は午後9時半から同10時半までが30分間隔、それ以降は20分間隔で更新する。比例代表は同10時から1時間間隔で開票が確定した市町の結果を提供する。それぞれ報道発表の約10分後に県HPで公開する。（全野和宏）

投開票速報 手順を確認

県選管、市町と会議
県選管は26日、衆院選の投開票速報に関する市町選管との打ち合わせ会議を県庁で開き、作業手順や注意点を確認した。写真、県選管の北畑茂和書記長



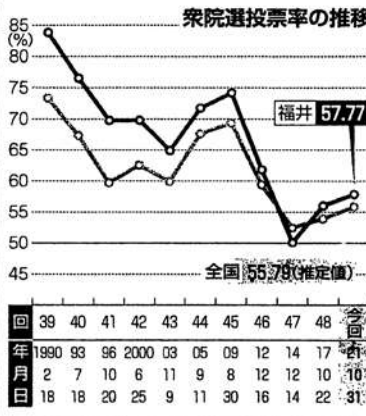
はあいさつで、厳正かつ公正な投開票事務の執行を心掛けるために作業を迅速化してほしいと述べた。担当者は管理執行上の留意事項などを説明した。開票速報は、県選管ホームページで小選挙区は午後9時半から同10時半まで30分間隔、以降は20分間隔で更新する。比例代表は午後10時から1時間間隔で、開票が確定した市町の結果を発表する。（野田勉）

投票率 伸びわずか

コロナ、短期決戦影響か

衆院選
ふくい
10.31

県内の小選挙区の投票率は57.77%で、二〇一七年の前回衆院選を1.85%上



選挙区	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)		▲は減少 前回は
			男	女	
福井県	215,745	119,942	55.88	55.33	2.10
市	27,216	15,331	57.74	55.04	1.67
市	19,127	11,737	62.45	60.37	0.82
市	23,287	14,015	60.77	59.65	1.52
市	74,522	42,561	57.81	56.46	2.68
市	15,313	9,614	63.06	62.52	1.34
区計	375,210	213,200	57.33	56.35	2.03
市	53,563	31,027	57.95	57.91	3.09
市	24,063	15,349	64.14	63.45	3.55
市	56,416	30,726	55.09	53.87	4.28
市	65,058	35,644	55.54	54.07	4.59
市	2,164	1,415	66.50	64.38	0.26
市	8,671	5,757	67.58	65.31	2.23
市	17,601	11,409	64.88	64.76	3.68
市	7,896	5,259	67.99	65.29	3.53
市	8,446	5,460	66.14	63.13	2.26
市	7,729	4,828	73.21	70.32	2.50
市	12,005	8,388	71.71	68.16	2.50
区計	262,612	155,262	59.75	58.53	1.59
県計	637,822	368,462	58.34	57.24	1.85

回ったものの、ほぼ横ばいとなった。候補者の陣営関係者からは、新型コロナウイルス感染症拡大による政治への関心の高まりに期待する声もあったが、選挙活動が制限されたこともあり、想定していたほどの盛り上がりにはつながらなかった。

今回の選挙戦では、与野党ともにコロナ下の国のあり取りを誰が行うのかという権限選挙と位置付け、積極的な投票を呼びかけていた。一方で、コロナ対策のため、大人数での演説会や草の根活動は大幅に制限、広く有権者に訴えを浸透させることができず、結果として選挙ムードの醸成につながらなかった。

首相による衆院選解散の意向表明から投票日まで一カ月弱と期間が短く、啓発が十分に浸透しなかった。



感染対策徹底し一票 福井・社南小

福井市内で最も有権者数が多い投票所の社南小学校は天候に恵まれたこともあり、若者からお年寄りまで多くの人の姿が見られた。

この投票区の有権者数は約八千人。午前中は十時ごろから正午まで、親子連れや高齢者夫婦らが途切れることなく、投票に訪れた。男性会社員(〇)は「(衆院選に)特に関心はなかったが、投票には来たかと思った」と一票を投じた。子ども二人を育てる男性会社員(〇)は「子育て支援を充実させる政策を進めてほしい」と期待を込めた。

選挙の関係者たちは駐車場の整理に追われたほか、感染症対策も徹底。受付所に飛沫を防ぐビニールを設け、使用済みの記入用ボールペンは回収、消毒して万全を期していた。(玉田能成)

共闘 上乗せにとどまる

県内の小選挙区(二〇一七(平成二十九)年の前回衆院選は、1区、2区とも自民と希望、共産の三つとも自民の構成。自民と野党を取りやめ、同2区を含め、野党候補の一本化が実現した。ただ「共闘」の相乗効果は十分発揮されず、自民王国を揺るがすには至らなかった。

「二〇一七(平成二十九)年の前回衆院選は、1区、2区とも自民と希望、共産の三つとも自民の構成。自民と野党を取りやめ、同2区を含め、野党候補の一本化が実現した。ただ「共闘」の相乗効果は十分発揮されず、自民王国を揺るがすには至らなかった。」

「共闘」の効果は「上乗せ」にとどまった印象だ。前回の得票構成などから分析すると、共産支持層の大部分の票は野党共闘を組んだ立候補者へ集まった。しかし、安全確保など基本政策が異なる立民と共産の協力に、有権者は冷めていたように映る。野党政権のイ

可能性もある。共産が候補者の擁立を取りやめ、自民と野党統一候補の一騎打ちとなった1区は56.82%。前回を2.03%上回ったものの、県内全体の投票率には及ばず、対決ムードは盛り上がりを見せた。1区と同様に自民対立民の構成となった2区は59.12%だった。

市町別では、おおい町が71.75%で、県内で最も高かった。最も低かったのは、鯖江市の54.46%。県内の衆院選投票率は、戦後70.80%台が続いていたが、一九九六(平成八)年に初めて60%台に落ち込んだ。近年では、一七(平成二九)年は55.92%、一四年は50.00%と、低迷が続いている。(波多野智月)

(山本洋臣)

1票格差全国で提訴

衆院選、最大2.08倍に拡大

「1票の格差」が最大2.08倍になった今回の衆院選は憲法違反で無効だとして、升永英俊弁護士がグループが1日、289選挙区全てをやり直しを求めて、全国14の高裁・高裁支部に一斉提訴した。早ければ来春に各地の高裁判決が出るとい

2022年度中にも最高裁が統一判断を示す見通し。東京高裁に提訴後に記者会見した升永グループの伊藤真弁護士は「是正裁判所の役割だ。違憲判決を出すことで初めて国会は動く」と訴えた。

1票の格差訴訟に長年取り組んできた山口邦明弁護士のグループも1日、広島高裁に提訴した。今後、東京高裁にも訴訟を起こす。総務省が公表した10月31日時点の有権者数によると、議員1人当たりの有権者数が最も少ないのは鳥取1区(鳥取市など)で23万95

9人、最多は東京13区(足立区の一部)で48万247人。格差は2.08倍だった。前回17年選挙は、是正のための区割り変更により1.98倍となり、1994年に小選挙区比例代表並立制が導入されて以降、初めて2倍を回った。最高裁は18年、国会の取り組みを評価し17年選挙を「合憲」とした。

衆院小選挙区では、都道府県の人口比をより正確に反映しやすい議席配分方法「アダムス方式」の導入が

決まっております。22年以降の選挙に適用される見通しだ。文書揭示など12件違反警告 県警、衆院選で福井県警の衆院選挙違反取締本部は1日、投票票日

の10月31日までに文書図画揭示違反などで12件の警告を出したと明らかにした。2017年の前回衆院選では20件の警告を出した。(小柳慶祥)

衆院選当選証書受け 稲田氏「初心に帰る」 県選管から1、2区2人

10月31日に投票された衆院選の県内小選挙区で当選した自民党の2人に3日、県選管から当選証書が渡された。写真。



初心に帰った気持ち。コロナ下の課題を解決し、明るい日本と福井の未来を築きたいという思いを強くした。と決意を述べた。区高木毅氏は代理人が出席した。県選管の金井亭委員長は「国民と福井の代表として、県民に選択されたことを誇りに思い、全力を尽くして大きな役割を果たしてほしい」と期待を込めた。(玉村勇樹)

期日前投票者数		(30日現在、県選管発表)	
		投票者数	(%)
1区	福井市	51,393	23.77
	大野市	6,184	22.67
	勝山市	5,495	28.68
	あわら市	4,922	21.09
	坂井市	15,084	20.21
	永平町	3,933	25.64
合計		87,011	23.15
2区	敦賀市	9,266	17.26
	小浜市	7,525	31.23
	鯖江市	9,727	17.21
	越前市	11,944	18.33
	池田町	662	30.59
	南越前町	2,351	27.05
	美浜町	4,206	23.84
	高浜町	2,347	29.64
	おおい町	2,215	26.15
	若狭町	2,057	30.55
	おん市	4,803	39.96
	合計		57,103
県合計		144,114	22.55

「期日前」最多14万4114人

制度浸透や密回避要因か

県選管は三十一日、衆院一表した。県内二つの小選挙区の前回衆院選の結果を区の前日投票者は十四万

四千百十四人で、二〇一七年の前回衆院選(十四万三千九百十二人)を上回り、過去最高となった。

投票前日の三十日までの累計。全体の投票者は三十三万八千四百五十三人で、四割弱が期日前投票をしたことになる。県選管の担当者は「制度の浸透が進んだことや、新型コロナウイルスの影響で投票所の「密」を避けたいと考える人が多かったからでは」と分析した。

選挙区別では1区が八万七千一人(前回八万六千四百五十四人)、2区が五万七千三百三人(同五万七千四百五十八人)。1区では三市町、2区では六市町で前回を上回った。人口に対する割合では若狭町が最も高く、約四割が期日前投票をした。

(波多野智月)

大野市投票者数誤る

衆院選 選挙結果に影響なし

十月三十一日投票の衆院選で、大野市は四日、小選挙区と比例代表の投票者数の同市の発表に誤りがあったと明らかにした。在外投票者一人の小選挙区と比例代表の集計表への記載がそれぞれ漏れていた。開票はされているため選挙結果に影響はない。

市選管によると、海外の女性一人からの在外投票を受け、職員が在外投票を受ける第二投票所(市役所)で処理。同投票所での集計時に職員が、集計表の在外投票者数欄にその記入を忘れた。四日に、市選管事務局職員が県への報告書作成中に記入漏れが判明し、県選管に報告。同日に修正した。市では再発防止として「速報値チェックリスト」を作成し、複数人でチェックするとしている。修正後の同市の投票者総数は、小選挙区が一万五千三百二十八人、比例代表は一万五千三百三十一人。(山内道朗)